

特別支援学校 学校評価一覧表② (令和2年度版)

(様式2)

羅 針		盤	関係する分掌	達成度			改善状況のまとめ	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目		①	②	総合		
I 幼児児童生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えていますか。	「教育活動の取り組みを、保護者や地域に対して十分に伝えている」と保護者、教職員の90%が答えている。	教務 渉外 情報管理	B	A	A	・コロナ渦の中で多くの学校行事が中止となったが、感染症拡大防止に配慮しながら様々な行事を開催するとともに、学年だよりやwebページなどで積極的に情報発信を行った結果、学校の様子がよく分かったと答えた保護者は、第1回評価の87%から96%に上昇した。	・学校のwebページは充実してきているが、それを見ていただく工夫が必要なのではないか。学年通信なども紙で配付するとともに、メールで配信することも考えていくべきである。 ・スマートフォンでも閲覧しやすいwebページ作りを行うことも大切と思われる。
		『「個別の教育支援計画」が有効に利用されている」と、保護者・教員の90%が答えている。	学習指導	A	A	A	・第1回評価では一部の保護者から「わかりにくい」との声があった。その後、三者面談等で「個別の教育支援計画」について丁寧に説明してきた結果、回答者の99%から肯定的な評価をいただいた。	・「個別の支援計画」の記述について、簡潔明瞭な表現にする。 ・面談時の説明相談時間を十分に確保するようにする。
	2 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。	学校公開や学校説明会を年間3回以上実施し、「本校に関して理解が深まった」と来場者の90%以上が答えている。	教務	A	A	A	・中学校訪問の件数を増やすとともに、説明会、学校見学の回数を増加させた。訪問先では本校への関心が高まっている様子が感じられ、中学校側からの来校者も増加した。 ・学校紹介ビデオを作成し、来校者に対し、わかりやすい説明を行った。結果的に受験者数が昨年度に比べ16名(33%)増加した。	・中学校訪問は、(新しく特別支援学級に担任になれる先生も少なくないと思うので)年度始めになるべく早く行いたい。各種説明会、大空祭とあわせて入学選抜までの流れを説明できたらと思う。 ・新年度版の学校紹介ビデオの作成にも取りかかりたい。
II 地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしていますか。	3 障害のある幼児児童生徒の教育について、助言援助に努めていますか。	地域の高等学校等の要請に応じて、相談・支援等を100%実施している。	コーディネーター	A	A	A	・地域の高等学校等の要請に100%応じて、相談・支援等を実施した。 ・「サポートちらし」を定期的に発行し、情報提供を行った。地域の高等学校等の要請に応じ、速やかに日程調整を行い、各学校に支援策を提供することができた。	・「サポートちらし」の内容を再考し、特別支援教育について基本的に知っておいてほしい情報はお知らせしていく。(福祉との連携を含む)
		訪問して行う相談について、支援の提案等を100%文字データでフィードバックしている。	コーディネーター	A	A	A	・訪問相談、来校相談、メール相談について、対象校への相談記録の送付を100%実施した。訪問相談時に得た情報や支援の提案を「相談記録用紙」にまとめ、確実に対象校へ伝えている。文字だけではなく画像も掲載し理解しやすい内容となるよう心がけた。	・授業の中で行う支援については、別紙で一覧を作成し、校内に広げやすいようにする。 ・相談記録の情報量を減らし、読みやすくする。
III 幼児児童生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	『「個別の指導計画」に基づいた、きめ細かな指導・支援が行われている」と保護者・教員の80%以上が答えている。	学習指導	A	A	A	・「個別の指導計画」について積極的に見直しを行うとともに、保護者への確認と連携を確実にすることとした結果、保護者の98%から「学校の指導・支援について満足」との回答を得た。	・指導、支援している内容を本人と保護者に共通理解を図るため、授業内での学習評価を心がけることで学びの状況などを積極的に伝える。
		いじめの未然防止に向けた本校の取組について、保護者・教職員の90%以上が満足している。	生徒指導	A	A	A	・職員会議や学年会議資料の回覧等で情報を共有し、職員の98%が職員間の情報共有ができていると感じている。今後は指導に直接関わらない職員への情報提供体制を見直し、正確な情報を迅速に職員へ行き渡らせるようにしたい。	・生徒個々の課題を共有できるようになったが、指導の内容及び指導後の様子をフィードバックすることも必要かと思われる。具体的な方法を計画したい。
	5 指導内容の確実な定着を図る授業が行われていますか。	授業改善のための研究授業・授業研究会・研修会等を年間5回以上実施している。	教務 学習指導	B	A	B	・わかりやすい授業実践に努めていると思う保護者は98%であり、授業改善のための研究授業・授業研究会・研修会等は年間5回以上実施した。なお、多忙等によりじっくりと授業参観できない職員も若干見られたので、今後は持ち時間数の見直しを含め、授業改善への取組みを強化していきたい。	・日々の授業を観ていただく機会は意外と少ないので、もっと授業参観を推進したい。校内実習中にも積極的に参観するようにアナウンスすることを検討したい。 ・研究授業他の実施にあたって、他分掌同士連携しあい、組織的に取り組んで効果的な計画の立案・運営を行う。
IV 健康や安全の確保に努めていますか。	6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	生徒一人一人の健康上の配慮や対応について、保護者・教職員の90%以上が満足している。	保健保安	A	A	A	・健康に対する配慮を適切に行っているか、という質問に対して、保護者、教職員ともに100%から肯定的な回答を得た。今後も油断することなく生徒の健康管理を行いたい。	・健康診断後の再検や治療についても、今年度と同様に呼びかけ、生徒の健康管理を行っていく。
		感染症の拡大防止に向けた取組について、保護者、教職員の90%が満足している。	保健保安	A	A	A	・学校の感染症対策には100%の保護者が満足していた。職員アンケートの結果でも全教職員から「しっかりと取り組んでいる」との回答を得た。今後も油断することなく継続していきたい。	・新型コロナウイルス感染症対策は、次年度も継続する必要がある。手洗い、消毒、マスク着用を徹底していく。
	7 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	緊急時の対応や避難経路について、生徒の80%以上が理解している。	保健保安	A	A	A	・緊急時に避難する力が身に付いていると答えた保護者は84%であり、教職員は91%であった。保護者と連携を図りながら、生徒のさらなる安全確保に務めたい。	・火災発生時等の避難訓練を行うとともに、災害発生時の避難訓練を視野に入れ、引き渡し名簿を作成する。
V 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	8 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。	それぞれの能力を踏まえ、「将来の明確な目標を持ち、努力している」と生徒・保護者の80%以上が答えている。	進路指導	B	A	A	・明確な目標を持ち、努力していると答えた保護者は80%であった。今後も効果的なキャリア教育を実施し、一人でも多くの生徒に目標を持たせたい。	・キャリア教育の指導内容整理、系統的指導の共通理解およびキャリア・パスポートの活用を行う。
	9 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	進路関係の情報と関係機関との連携について保護者の80%以上が満足している。	進路指導	A	A	A	・保護者の96%が、進路関係の情報提供及び関係機関との連携について満足している。今後も積極的に保護者と関係機関に働きかけ、生徒の進路決定を適切に推進していきたい。	・引き続き、保護者会、進路ガイダンス、進路セミナー、進路だより等で情報提供を行う。学校見学会等の進路行事を積極的に行い、関係機関との連携を広げ、深めていきたい。